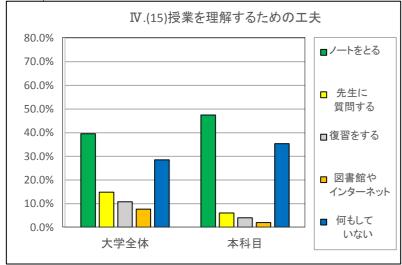


	設問No.	科目平均	全体平均
受力	I .(1)	3.21	3.26
語身 姿	I .(2)	3.20	3.40
勢の	I .(3)	2.55	2.73
	Ⅱ.(4)	2.65	2.97
	Ⅱ.(5)	\setminus	\setminus
講	Ⅱ.(6)	\setminus	\setminus
義	Ⅱ.(7)	3.01	3.20
内 容	(8). Ⅱ	2.95	3.27
-	Ⅱ.(9)	2.90	3.13
方法	Ⅱ.(10)	2.59	3.13
Д	Ⅱ.(11)	2.54	2.94
	Ⅱ.(12)	3.09	3.31
	Ⅱ.(13)	3.03	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.05	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に 質問する	復習をする	図書館や インターネット	何もして いない
Ⅳ.(15) 授業を理解するための工夫	47.5%	6.1%	4.0%	2.0%	35.4%



	本件日十均	土冲十均
自身の 受講姿勢	2.99	3.13
I .(1)~(3)		
講義内容・ 方法 Ⅱ.(4)~ (13)	2.84	3.15
総合的 満足度 Ⅲ.(14)	3.05	3.23

太科日平均 全休平均

	授業年度		度	2014年度 前期
1	時間割番号		番号	13101/13302/13351
	科	目	名	文学/日本の文学/文学の成立と展開
1	教	員	名	

①授業計画の達成度について

授業計画については第一回で示したが、学生の習熟度により多少変更した。授業の目的については、学習単元の最初に示したので、一定の理解は得られたものと思われる。しかしながら、口頭、板書やパワーポイントなど、示し方が一貫しなかったため、伝わりにくかった点があったと思われる。今後、反省すべき点である。

到達目標については、大多数の学生の水準に合わせて設定した。毎回の 授業後の振り返りや試験の結果などからも適切であったとは思う。習熟度 が水準より高い学生や基礎知識のとぼしい学生については、発展知識を 紹介したり、項目を再確認するなど配慮はしたが、そうした学生には授業 の難易度とともに多少不満が残るところがあったかもしれない。今後は全 学生に対してよりいっそう配慮した授業運営を行いたい。

②授業の進め方について

授業の進行については、度々確認しながら進めたので、一定の水準は保てたと考える。しかしながら、大教室で大人数の授業が未経験であったこともあり、マイク操作やプリント配布の仕方など授業の段取りに手間取ることが多かった。そのため、後部座席の学生には声が聞こえにくいことやプリントが行きわたりにくいなどの不満が出たものと思う。また、授業進行の都合上、私語や居眠り、受講マナーについて注意が十分にできなかった。反省すべき点である。今後改善してゆきたい。学生の学習理解をよりいっそう深めるために、画像やDVDの使用など学生の興味をひくような教材の選択には努力したつもりである。授業満足度については、一定の水準を得たものと考える。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

授業全体の反省としては、やはり、私語や居眠り対策など学生の受講マナーを高める努力をよりいっそう行うべきであった。授業を学生の興味をひくような内容にする、板書やグループでの話し合いなどを作業を行うなど、学生を授業に向かわせるよう努めたつもりではある。しかしながら、書くことが不得手な学生などには板書が多すぎたところがあった。また、私語や居眠りをすることはマナー違反であり、他の受講者に対する授業妨害であることを学生の共通認識としてもっと徹底する必要があった。今後は厳格な態度で指導にのぞみたい。また、授業の予習・復習については、関係図書や資料館などの紹介などは授業中に行ったが、学生の自主性に任せてしまった点があった。今後は、授業外の課題を出すなどして、学生の学習を促したい。